# 2022 年前期・進捗報告（実行団体）

● 提　出　日　：　２０２２年 10 月 01 日
● 事　業　名　：　子どもから高齢者まで、住民が考える多国籍団地自治プロジェクト
● 資金分配団体　：　一般財団法人中部圏地域創造ファンド
● 実 行 団 体　：　県営保見自治区

① 実績値＝原則、2022 年 4 月～9 月末の実績値

| アウトプット | 指標 | 目標値 | 達成時期 | 現在の指標の達成状況<br>（実施した活動内容も５Ｗ１Ｈや、参加人数等もわかるように書いてください＝別紙一覧でも可） | 進捗状況＊ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1-1、住民がルール違反のゴミ投棄をすることが減り、役員等が粗大ごみを回収する回数が減る | ①役員以外で粗大ごみ処理に協力した住民数<br>②役員が行う粗大ごみの回収回数 | ①10 名（一斉清掃時）<br>6 回／年<br>② 6 回／年 | 2023 年 3 月 | ① 6 名<br>継続して、奇数月の第 1 日曜日（一斉清掃の日）に、不法投棄物の回収を行い、翌週水曜に豊田市よりパッカー車を手配してくれるサポートによって対応している。それを積む収集までの作業を、役員 4 ～ 5 名の他、住民 5 ～ 6 名、県住宅公社からのお手伝いで担っている。金属回収に関わる住民の協力は続いており、洗濯機等の解体・部品の分別に貢献している。ただし、**分別ルールの徹底は依然として必要**。さらに問題なのは、住民でない人が粗大ごみを投棄しに来ることである。<br>② 年 6 回。　上記により行っている。<br><br>※分別ルールの徹底として、以下の 3 つに取り組んだ。<br>1：センサー付照明：8 月 9 日に 25 棟のゴミステーションに、不法投棄を防ぐためのセンサー付き照明を取り付け、注意喚起のためのポスターも掲示板に設置した。今まで洗濯機等が 3 、4 台放置された状況が生じていたが、その後、把握できたのは 1 台のみで、効果があったと実感している。<br>2：ゴミ動画：ゴミ分別ルールに関わる動画を自治区と保見プロジェクト（中京大）で作成した。ポルトガル語の音声をつける予定である。<br>7 月の防災訓練の時に集会所で見てもらう予定だったが、コロナ感染拡大時期だったので見合わせた。11 月の防災合同訓練の時に PR ブースを設け | 2 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | たい。外国人住民がよく見る SNS に投稿する等も今後行う。<br>3：ゴミ分別ルールに関わるちらしも日本語・ポルトガル語版を保見 PJ と共に作成。9 月に全棟に掲示した。<br><br>※2022 年 6 月 21 日に実施した「県営保見団地の不法投棄の現状と取り締まりの強化」の会議に向け、不法投棄の状況をビジュアルな資料にまとめ報告し、豊田市や豊田警察署への理解を促進した。<br><br>※センサー付き照明については、効果を確認しながら、注意用のスピーカー装置で補強するか、不法投棄の多い 18 棟、8 棟に追加設置をするか等を今後検討する。 | |
| 1-2、県営保見自治区に、粗大ごみの回収場所をつくる | 粗大ごみの回収場所 | 1 つ | 2023 年 3 月 | 改修場所としてリユース工房を構想。愛知県等との調整を経て、空間を整備し、2021 年 11 月に一旦設置して、家具等のリユース活用の実績もあった。回収監督にあたる体制も計画して、7 月に第 2 回目の啓発としてわかりやすいイラスト入りちらしを作成し、本格稼働をする予定であった。が、下記のような理由により、再度、住民との協議から再スタートすることとした。<br><br>・本格稼働をするにあたり、リユース工房の設置場所が目立つようにアーティストの協力を得る準備していたが、24 棟の住民に十分説明が届いておらず、またルールが徹底していない状況で不用品が放置される状況が生じてしまったため、「リユースに活用できないゴミが放置された場合に迷惑となり、24 棟の住民が片づけをする負担が発生する」と反対意見が生じた（6 月 18 日）。自治区役員で説明にも努めたが、住民の理解を得るのに時間がかかると判断し、再度、住民と共にこのスペースに不用品がおかれた場合の対応やそれを回避する方法を協議することから始める。日系ブラジル人が SNS で不用品の交換をしていることがわかったので、SNS の活用も検討したい。 | 3 |
| 2、住民が集会所を利用して、子ども食堂や子 | 集会所貸し出し回数 | 子ども食堂 50 回/年<br>子育てサロン | 2023 年 3 月 | 上半期　子ども食堂 0 回、子育てサロン 0 回、高齢者サロン 1 回<br>その他 4 回 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 育てサロン、高齢者の集まり、住民が交流できるイベント等の活動を行う | | 4 回/年　高齢者 12 回/年<br>集会所の庭の手入れや活用 50　回 / 年 " | | ・集会所の利用は高齢者が多く、また 4 月以降は子ども→大人に感染が広がる状況もあったため、豊田市で 1,000 人以上の感染者が出たら集会所の使用を許可しないというルールに準じ、集会やグループ活用の利用は見合わせた。なお、子どもの活動自体は、屋外や基準が緩やかな施設にて実施された。<br>・老人会（けやき会）は週 1 回集会所で開催している。7 月 2 日には子どもたちと七夕飾りを作って、集会所前に飾った。10 月にも子どもと触れ合う会を予定している。<br>・2021 年 10 月に集会所の貸し出しルールを改定し、それに基づいて 4 月～9 月は、日本人 1 名、ブラジル人 3 人の葬儀で活用された。<br>・集会所の庭の手入れは、老人会が月 7 回、自治区が月 6 回で、70 回程度手入れがされ、花が咲き、きれいな状況である。 | |
| 3-1、県営保見自治区に、自主的な自治活動をするグループができ、住民が参加する | ①自主的な自治活動をするグループ数<br>②参加する住民数 | ①10 団体<br>③　50 名 | 2023 年 3 月 | ①　10 団体。<br>**自治区として防災隊を 12 月に結成**。その他、チーム活動と連動して生まれた＆顕在化した活動もあり、①自治区・老人会の花植え活動、②子育てサロン、④高齢者サロン、⑤防災隊、⑥ゴミ観察隊、⑦JUNTOS の子ども学習支援活動、⑧24 棟美化活動、⑨愛知県立大学による 23 棟の子どもとの壁画ペインティング、⑩耕作放棄地を活用したコミュニティガーデンなどがある。また、JUNTOS と老人会による七夕イベント等、グループ間の共同イベントも生まれた。今後は、重層的支援体制事業の一環で民間福祉施設が参加する「とよた多世代参加支援プロジェクト」と連携する予定である。これらの活動が自治区活動と連携・協力等をする可能性について今後検討する必要がある。<br><br>②　約 80 名<br>①　～⑩の活動に参加している数は上記の通りだが、これらの活動の他、フードパントリーや子ども食堂に受益者的な立場で参加する住民も数十名いる。<br><br>※防災隊　7 月 24 日に、豊田市消防本部のご協力を得て、24 棟中庭にて、 | 2 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 地震体験、消火器訓練、煙体験等を行った。45 名が参加。アンケートを実施し、災害への備えや不安について把握した他、防災隊活動への関心を調査、「なってもよい」という人が外国人 4 名いた。また、学習会にも、日本人 11 名、外国人 5 名が関心を示した。<br>11 月 20 日の 4 地区合同の防災訓練に向けて、10 月下旬までに再度集まりを設けて、新たなメンバーも含めた防災隊を結成したい。 | |
| 3-2、困りごとや地域をよくするアイディアを自治区と相談する機会ができる。 | 相談会の回数（または相談件数）<br><br>生活の困りごと（健康・福祉など）への対応力を高めるための勉強会 | 4 回 | 2023 年 3 月 | ・保見団地は民生委員がいないが、実質的に住民の生活相談に対応しているキーパーソンを、2、3 名把握し、つながりを強めつつあり、ゴミ屋敷状態にチームメンバーが協力して取り組んだ事例も出てきた。<br>・今秋に、住宅供給公社で福祉相談を行う計画があり、7 月に打合せを行った。協力して実施したい。<br><br>・防災のテーマでは、火災に関する勉強会を 5 月 22 日に実施した。<br>・災害要援護者と生活の困りごとを連動して取り組めないかと考えている。防災隊が（可能な範囲で）対応できるような体制にもっていきたい。が、個人情報保護の扱いが不安である。担当課に問い合わせ、救助を割り当てる形等を考える。耐震のためのつっかえ棒の設置を防災隊に研修してもらい、救助する対象者と顔見知りになるために設置のお手伝いをする等の活動を今後検討したい。<br><br>・住民に自治活動の理解・協力を呼びかけようと、「自治区の班長の仕事」についてのちらしを保見 PJ の協力を得て、4 月に作成、当番が回ってきた時に、前向きに担うように呼びかけた。<br>・9 月 1 日から実行団体のひとつである保見 PJ（中京大）が 17 棟の 2 戸の使用許可を得た。17 棟の住民には知り合いが多いので、住民との関係を築いてから、困りごと相談の場所としても活用できるよう準備しつつある。 | 2 |

② 事業進捗に関する報告

| 1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み |
|---|
| 2.概ね達成の見込み |

| 2.アウトカムの状況 |
| --- |
| A：変更項目<br>☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値 |
| 3.（任意）活動に関する報告 |
| 区長が昨年 4 月に交代し、プロジェクトの引継ぎ等に時間を要した。が、自治区の活動を担う人が増え、今後一層の進展が期待できる。 |

**③　広報に関する報告**

| 1.　シンボルマークの使用状況 |
| --- |
| ☑自団体のウェブサイトで表示している　　☐広報制作物に表示している<br>☑報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☑その他<br>→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：<br>助成金で購入した備品＝PC,スクリーン、センサー付き照明にシール添付 |
| 2.　広報 |
| 1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）<br><br>2.広報制作物等<br>ゴミ分別に関する動画、ゴミ分別に関するチラシ<br>3.報告書等<br><br>4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）<br>七夕飾り（7 月 2 日）、防災訓練（7 月 24 日） |

**添付資料**　活動の写真（画像データは１枚２MG 以下、3～4 枚程度）

**7 月 2 日　七夕飾り**

**7 月 24 日　防災訓練**

**8 月 9 日　25 棟のゴミステーションにセンサー付き照明を設置**